株式会社浅沼技研

■材料・加工技術

技術・サービス

■1）アルミニウム合金鋳物の試作品製造

▷当社の主な業務は、自動車用アルミニウム合金鋳物部品の試作品製造であり、精密砂型鋳造、高精度機械加工、高精密測定・検査までを一気通貫的に社内で行っています。

■2）アルミニウム合金鋳物の高機能性化技術の開発

▷当社では、アルミニウム合金を完全に溶融せず、半溶融状態のまま金型又は金型＋砂型中に、低速・低圧で圧入する半溶融成形法（チクソキャスティング法）を開発し、アルミニウム合金鋳物に従来にない高機能性を持たせることに成功しました。

・砂型が使えること（ハイブリッドモールド法）による高い成形の自由度
【第35回素形材産業技術賞素形材センター会長賞：受賞】
・ダイカスト合金の2倍の高熱伝導率を持つアルミニウム合金鋳物
【特許番号：第5747103号】
・熱処理レスでJIS合金AC4C-T6を超える高強度アルミニウム合金鋳物
【開発合金（引張強度）：熱処理なし270MPa以上・T5処理310MPa以上】

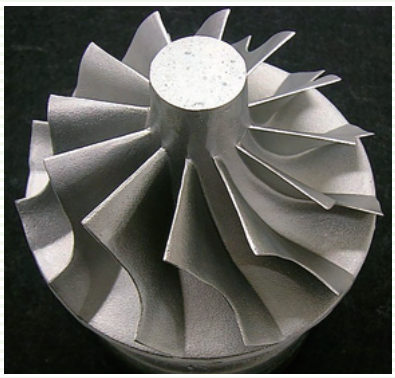

図1 ターボチャージャ用インペラ

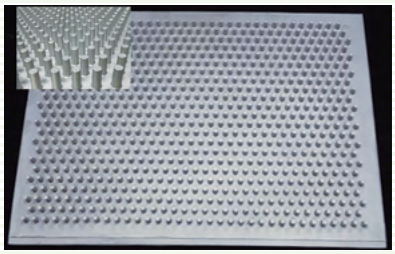

図2 A4サイズのヒートシンク

強み

▷1）試作品製造では、ダイカスト品と同程度の鋳肌・肉厚を可能としています。JIS以外の合金種の鋳造や特殊な熱処理にも柔軟に対応いたします。
▷2）半溶融成形法の特長を生かして、図1のようなアンダーカット部を有する先端0.5㎜のターボチャージャ用インペラの試作を行っています。また、高熱伝導率アルミニウム合金を使用して、図2のようなA4サイズのヒートシンクの試作鋳物の製作も行っています。

メリット

▷1）試作品製造では、高いQCDが維持できるとともに、設計変更にも迅速に対応できます。特殊なアルミニウム合金の鋳造や熱処理にも対応できます。
▷2）半溶融成形法を活用することにより、種々の高機能性アルミニウム合金鋳物を提供することができます。

企業名	株式会社浅沼技研			電話	053-486-1240
所在地	浜松市中央区湖東町4079-1			FAX	053-486-1376
代表者名	代表取締役 浅沼 祐一郎	設立年月	1978年10月1日	URL	http://www.asanuma-g.jp/
資本金	314,100千円	従業員数	70名	問合せ担当	研究開発室 室長 上久保 佳則
事業内容	輸送用機器/産業用機器の試作品製造				
拠点(国内・海外)	本社（浜松市中央区）				
主要取引先	国内完成車メーカー、国内Tier1サプライヤ				
認証・規格	ISO9001, JCSS0087				